

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報

NO.6  
平成17年  
(2005)

# 環境ひらかた

7月号

電気を消して何が見えたかな?

## ブラックイルミネーション 2005 in ひらかた

ひらかた環境ネットワーク会議は、地球温暖化につながるライフスタイルを見直してもらおうと、6月19日午後8時~10時の2時間、市内全域でライトダウン(消灯)を実施するように呼びかける「ブラックイルミネーション 2005 in ひらかた」を実施しました。当日は、エフエムひらかた(77.9MHz)のカウントダウン放送を皮切りに、ひらかたパークの大観覧車をはじめ、市役所各施設、大学施設、事業者が消灯を実施しました。また、各家庭において多くの市民から消灯への協力を頂きました(3ページに関連記事)。



## 目 次

1 7年度定時総会開催	2
ブラックイルミネーション	3
各部会&運営委員会の活動	4
ごみ・エネルギー部会紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(竹取物語の会)	8

# 定時総会

レンタサイクル・自然エネルギー学校・出前授業・エコフェア参画など

# 17年度予算・事業計画など承認

議案について提案説明をする谷崎会長



## 運営委員 12 人、監事 1 人を選任

平成 17 年度定時総会を、6 月 5 日（日）、ラボールひらかた 4 階大研修室で開催しました。

定刻の午後 1 時に開会し、会員数 198 名（個人正会員 164、団体正会員 34）、出席者 109 名（本人出席 48、委任状出席 61）により、総会の成立を確認した後、来賓の中司宏枚方市長にご挨拶を賜りました。

その後、議長に石原了さん、議事録作成者に杉森貴広さん、議事録署名者に坂田智幸さんを選出し、議事に入りました。

議長の進行により、運営委員会提出の第 1 号議案「平成 15、16 年度事業報告承認の件」、第 2 号議案「平成 15、16 年度収支決算報告承認の件」、第 3 号議案「平成 17 年度事業計画（案）承認の件」、第 4 号議案「平 17 年度収支予算（案）承認の件」、第 5 号議案「役員選任の件」について審議を行いました。

第 1 号議案と第 2 号議案、第 3 号議案と第 4 号議案は、それぞれ一括で審議を行い、全員異議無く、原案どおり承認可決しました。

第 5 号議案は、谷崎利男会長が「役員全員が、本総会の終了をもって任期が満了するのに伴い、改めて役員の選任をしたい」と提案説明し、原案

の候補者につき、議長が議決を求めたところ、全員異議無く、原案どおり承認可決し、運営委員 12 名及び監事 1 名を選任しました（3 ページ参照）。

その後、総会は一旦休憩となり、別室で運営委員会を開催し、全会一致で会長に谷崎利男さん、副会長に丸井晶子さんを選任しました。

午後 2 時 25 分に総会を再開し、中村正紀委員が、運営委員会での選任結果を報告し、議長が議決を求めたところ、全員異議無く、原案どおり承認可決し、すべての審議が終了し、総会は閉会しました。

閉会後、会長に選任された谷崎利男さんから挨拶があり、安定した組織運営を行うために N P O 法人化を進めるなど、今年度の運営方針についての説明がありました。

## 人と自然とが調和したまちづくりとは

定時総会終了後、午後 3 時から、財団法人自然農法国際研究開発センター理事長の天野紀宜さんによる特別講演会を開催しました。講演は「自然循環型社会をどう構築するか」のテーマで行われ、市民が行政や各種団体などを巻き込んで河川の浄化に取り組む東京都足立区の事例などを紹介し、人と自然とが調和した自然循環型のまちづくりについてお話をされました。

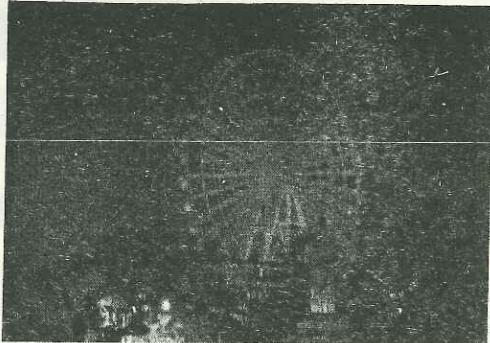


自然循環型社会の構築について講演する天野紀宜さん

# ブラックイルミネーション2005 in ひらかた

## 消灯キャノペーン実施

### ひらパーの大観覧車もライトダウン



今年の「ライトダウンキャンペーン」は、「広報ひらかた」や、「エフエムひらかた」(77.9MHz)、ケーブルテレビ局「ケイ・キヤット」などで消灯を広く呼びかけたほか、チラシやポスターなどを配布して、市民に呼びかけを行いました。

19日夜には、市内のランドマーク的存在の「ひらかたパーク」の大観覧車（写真）をはじめ、国会議事堂に似たデザインで有名な大阪工業大学北山キャンパスなどが消灯を実施したほか、右欄の施設でも消灯に協力いただきました。

また、市内の小学校に呼びかけて、家庭での消灯体験を綴った作品（詩、短歌、俳句、川柳、メッセージなど）を児童から募集して

います。締め切りは9月22日までに学校に提出。応募作品の中から優秀作品数点を選考して、11月に開催する「ひらかたエコフェア」で表彰を行います。

#### キャンペーンに協力いただいた事業者・施設

- ・ ひらかたパーク
  - ・ パナホーム株式会社 大阪支社
  - ・ 摂南大学
  - ・ 大阪工業大学
  - ・ 京セラミタ株式会社 大阪工場
  - ・ ラポールひらかた
  - ・ メセナひらかた
  - ・ 枚方市水道局
  - ・ 株式会社エフエムひらかた
  - ・ 株式会社ケイ・キヤット
- (順不同)

## 新役員の紹介

役員種別	氏名	担当	
運 営 委 員	谷崎 利男	会長	市 民
	丸井 晶子	副会長、自然環境部会部会長	市 民
	石川 聰子	環境教育サポート部会部会長	市 民
	石原 了	事務局担当、企画担当	市 民
	鍛治谷 知宏	広報担当	市 民
	鎌田 徹	公共交通部会部会長	市 民
	末岡 妙子	涉外担当	市 民
	中村 正紀	ごみ・エネルギー部会部会長	市 民
	新島 健士	まちづくり部会部会長	市 民
	田中 隆夫		事業者
	堀田 修平		事業者
監 事	伊丹 均	行政担当	枚方市
	稻田 増光		市 民

## ●各部会の活動

### 自然環境部会



## 穂谷地区で竹薮の整備に参加

枚方市北部の穂谷や津田地区には、まだまだ里山が残っています。しかしながら充分な保全が行き届かず荒れたままのところも随所にあります。自然環境部会では、5月15日、穂谷地区で「尊延寺の里山を守る会」に協力して竹薮の整備に参加しました。

場所は穂谷口バス停のすぐ近くで、かなりの傾斜地にある荒れ放題の竹薮。約15人が手にのこぎりを持って竹薮に入りましたが、直径15センチもある竹が伸び放題で、上方で葉がからんでいて簡単には倒れてくれません。2~3人がかりでやっと倒し枝を払い、3メートルぐらいに切りました。2時間ほどの作業でかなりきつい重労働でしたが、いい汗をかいて終わることができました。



### ごみ・エネルギー部会



## 雨水モニターワーキンググループが誕生

①自然エネルギー学校設立準備（ひらかた自然エネルギー学校WGと改称）：平成16年11月に枚方市地域新エネルギー市民会議旧委員4人を中心にスタートし、1か月後部会員も加わり本格的に活動が始まりました。現在約10人で8月開講を目指して運営体制、講座内容、収支などの企画・検討を進めています。また受講生募集を6月1日から開始しました。②廃食用油リサイクルWG：部会員6人で1月にスタートし、2月京都市廃食用油燃料化施設見学会、3月都立科技大小西助教授を囲む勉強会を催しました。③地域ごみ減量WG：部会員6人で1月から廃棄物減量等推進員制度などにつき市民の立場で検討を進めています。④省エネラベルWG：6月にCASAから講師を招いて勉強会をしました。そして6月に新しく⑤雨水モニターWGが誕生しました。

### 公共交通部会



## レンタサイクル実験などのプロジェクト進行中

公共交通部会では、次のようなプロジェクトの企画を進めています。興味のある方はぜひ参加してください。

- 枚方市駅周辺のひどい駐輪状況の解消と、自転車マナーの向上を目指し、駐輪システムの提案。
- 牧野駅と中央図書館とを結び、併せて牧野駅周辺の施設へのアクセスを自転車で確保することを目指したレンタサイクル実験。
- 楠葉地区バスマップ作成へ向けたワークショップの開催。
- まちづくり部会と協働で樟葉駅前広場の利用・活用についてのワークショップの開催。



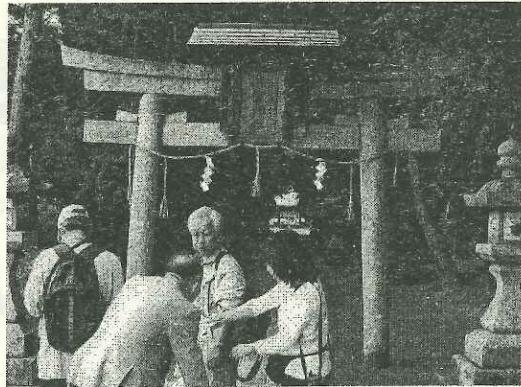
まちづくり部会



## くずは地区でフィールドワークを実施

昨年のエコフェアで実施した「ひらかたのまち、ここが好き、ここが嫌い」アンケートで好感度の高かった場所を中心に、その理由や共通点を探るためのフィールドワークを3~4回実施する予定です。

第1回は5月15日北部方面で、市民の森、交野天神社、船橋川回遊路などを巡りました。引き続き東部方面、南部方面までを巡るべく企画中です。決まり次第、皆さまにお知らせしますので、ぜひご参加ください。



環境教育サポート部会



## 環境教育ソポーターを養成する「ひらかた環境くらわんか塾」開講

■8月から「ひらかた環境くらわんか塾」を開講します。この講座を修了すると「環境教育ソポーター」になることができます。来年度から、枚方市の中学校では、学校版環境マネジメントシステム(EMS)の導入がスタートすることがすでに決まっています。環境教育ソポーターはこのEMS構築や運用の支援をします。詳細は本誌に同封されているチラシをご覧になるか、事務局までお問い合わせ下さい。

■7月に市内の2つの小学校で出前授業を行う予定です。お手伝いいただける方や見学をご希望の方は、事務局までお知らせ下さい。

■子どもたちに昔のくらしなどを話し聞かせる「環境語り部」の活動を始めます。関心のある方は、事務局までお問い合わせ下さい。

運営委員会



## ひらかたエコフェアの企画を担当

サブリ村野3階にネットワーク会議事務局が移転し、5月8日、事務所お披露目の茶話会を開催しました。会員17人、ひらかたNPOセンター等からの来賓6人、環境保全部職員8人の参加があり、ささやかながら賑やかに語らいました。

5月22日、淀川河川敷で開かれる国際水辺のマーケットにテントブースで出展し、会員募集を行う予定でしたが、雨で中止となり残念でした。

今後、エコフェアではネットワーク会議が中心となって企画していきますので、「何かおもしろいことやってみたい」「イベントの企画に参加したい」という「あなた」、ご参加お待ちしております。

## 特集・部会紹介 ごみ・エネルギー部会

### ★枚方市環境基本計画と部会の活動

ごみ・エネルギー部会は、枚方市環境基本計画の推進及び計画の見直しという、ひらかた環境ネットワーク会議の大きな役割を常に念頭に置き、廃棄物及びエネルギー分野のワーキンググループ(WG)を作つて実践活動に励んでいます。



サプリ村野に設置した雨水モニター用タンク

枚方市環境基本計画		ごみ・エネルギー部会の活動	
環境分野	施策の方向	今後の実践活動テーマ	現在活動中のWG
廃棄物	・廃棄物の発生抑制 ・再使用・再生利用の促進	・生ごみ減量・堆肥化の拡大 ・有機性廃棄物のバイオガス化・エネルギー変換可能性調査 ・地域ごみ減量(減量推進員制度)の実態調査 ・資源化物リサイクルの実態・追跡調査 ・廃食用油リサイクルの需要開発	・生ごみ減量・堆肥化WG ・地域ごみ減量WG ・廃食用油リサイクルWG ・ひらかた自然エネルギー学校WG ・省エネラベルWG ・雨水モニターWG
エネルギー	・省エネルギーの推進 ・自然・未利用エネルギーの利用促進	・自然エネルギー学校の設立 ・省エネラベルの普及 ・エコライフの推進	
水循環	・雨水の貯留、浸透機能確保	・雨水利用の普及	
地球環境	地球温暖化防止	・地域新エネルギービジョンの実践	

## ワーキンググループの活動紹介

各ワーキンググループ(WG)はリーダーを中心に、他WGと協力・連携して活動しています。

### 《ひらかた自然エネルギー学校WG》

家庭や地域で地球温暖化防止につながる自然エネルギー普及のための人材と、そのネットワーク作りを目的に「今なぜ自然エネルギーであるのか?」を統一テーマに第一線で活躍されている講師をお招きし、8月に開講する「ひらかた自然エネルギー学校2005」の準備にWGメンバー(学校運営スタッフ約10人)が現在奮闘中です。共に学校運営をしていただけるスタッフおよび受講生(定員30人、先着順)を募集中です。

### 《雨水モニターWG》

大阪府の「みんなで大阪クール大作戦!おおさかレインボウふろじえくと」で、「雨水モニター」として枚方市では府内15件中1件採択されたのを機会に、6月に新たに誕生したWGです。サプリ村野を拠点に、7月から枚方市環境総務課とともに雨水利用の体験、普及啓発活動を開始します。

### 《省エネラベルWG》

6月に省エネラベルとは?の勉強会から開始したWGです。すでに札幌、首都圏、静岡、長野、京都、大阪、香川、高知など全国各地でネットワークが広がっている「省エネラベル」キャンペーンを枚方市内で検討していきます。省エネラベルに興味のある方、当WGにご参加下さい。

# イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。  
☎ 072・847・2286

## ケーブルTVでネットワーク会議を紹介



地域のケーブルテレビ局「ケイ・キャット」(アナログ 11ch、デジタル 111ch)で放送されている枚方市の市政情報番組「ここが知りたい枚方市」で、ひらかた環境ネットワーク会議の活動が紹介されています。

この番組は、月1回の更新で枚方市に関するさまざまな情報を放送しており、7月放送分は、枚方市が実施している夏のエコライフキャンペーンや、市民・事業者の環境に関する取り組み(写真)を紹介しています。ぜひご覧下さい。

\*\*\*\*\*

放送日：7月24日まで毎日放送中

時 間：午前9時30分～、午後8時30分～(土曜日・日曜日は午前の放送のみ)

## 国際ソロプチミスト枚方-中央から 自然エネルギー学校設立へ支援金

ひらかた環境ネットワーク会議は、5月31日、国際ソロプチミスト枚方-中央から、「ひらかた自然エネルギー学校」に対する支援金の贈呈を受けました。これは同会の20周年記念事業の一環として行われたものです。

支援金の贈呈式は、サプリ村野のネットワーク会議事務所で行われ、同会会長の石原敏枝さんと、事務局の井上祥子さんから、谷崎会長に

## エコフェアのプロジェクトチーム員募集

ひらかた環境ネットワーク会議では、今年から「ひらかたエコフェア」の企画部門を担当することになりました。そこで、新たに「エコフェアプロジェクトチーム」を立ち上げ、11月下旬に開催される「ひらかたエコフェア」に向けて、イベント企画などを検討していきます。

「部会には参加していないが、イベント企画に興味がある」という方は、ぜひご参加ください。

## 「環境のへえ～」 Vol.5

### 『竹材活用のメリット』

木材と木材を接合する場合、継ぎ手には金属製の釘などを使うのが一般的ですが、「愛・地球博」の日本館では代わりに竹筒を使用しています。

木材の接合部に穴を開け、竹製の筒の継ぎ手で接続します。金属のストローで筒内に注入した接着剤が筒の両端からあふれ出し、穴と竹筒の隙間を埋めて木材を固定します。

継ぎ手に竹を使うメリットは、解体時の切断のしやすさと解体後の分別処理が不要なことです。鉄板やボルト、釘などを接合部に使っていないので廃材から金属を分離する手間がかかりません。

(30秒で読む環境情報!)



目録が手渡されました(写真)。石原会長は「自然エネルギー学校の開校が、地球温暖化防止に役立ってほしい」と話していました。

会員数(平成17年7月1日現在):正会員197名(個人162、団体35)、賛助会員36名(個人30、団体6)

# 団体紹介 コーナー

## 森林ボランティア 「竹取物語の会」

設立：2002年7月 会員：55人 代表者：堀田英雄

活動場所：枚方野外活動センター

ホームページ：<http://www.eonet.ne.jp/~taketorinokai>



雜木林の再生、竹林伐採跡地への  
植林

### 「山を元気に！」を合言葉に、竹林伐採などの活動を展開

里山を侵食、幽閉化した竹林を切れば「かぐや姫」に会える。そんな思いに駆られた有志が集い活動を始めたのが、森林ボランティア「竹取物語の会」です。年間活動日数は95日、年間活動人数は1440人を超え、全国でも類を見ない活発な団体です。会員みんなの願いは、里山の保全活動を通して「山を元気に！」すること。今年2月に批准された京都議定書の精神に少しでも役立てばと活動をしています。

竹林・雑木林の保全活動から生じる廃材の活用については、キャンプ場の燃料としての薪作りのほか、子ども達の創造力を養うクラフト作りにも力を入れ、山を訪れる人の指導に当たっています。

また、竹炭や竹酢液、さらには竹和紙がどのようにしてできるか、いつでも紹介できるようにしています。

枚方市には、貴重な里山が残っており、今後この里山をどのように守っていくか、地元の人たちと協議を進めながら活動していく予定です。

#### 里山保全の感動をより多くの人に

##### ＜代表者の想い＞

森林ボランティアは、小さな野草から大きな樹木、近くの里山から地球環境まで幅広い範囲で価値観を見出せる活動です。1日の活動を終え、きれいになった山を振り返ったとき、小さな感動を覚えます。この感動を多くの方へ伝え、枚方の里山で保全活動がさらに進むこと、これが私の夢です。



七夕祭のモニュメントの前に立つ堀田英雄さん

#### 編集後記

今年の流行語大賞に選ばれるのではと思うくらい最近よく耳にする「COOL BIZ(クール ビズ)」。これは、エアコンの温度を28℃に設定しても快適に過ごせる、ノーネクタイ・ノーアンダーヘンジのことです。流行に乗せられやすい私は、早くクールビズ用のシャツを何着か買い揃えました。襟の形状が少し変わったものや、ボタンホールに色糸を使用したものなど、お洒落心をくすぐるデザインで、毎日のシャツ選びが楽しくなりました。地球にやさしいライフスタイルは楽しい！人一倍暑がりやの私ですが、今年の夏は28℃で乗り切れそうです。  
(鍛治谷記)

#### ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第6号

平成17年7月1日発行（年4回発行）

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール [jimukyoku@hirakata-kankyou.net](mailto:jimukyoku@hirakata-kankyou.net)

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛治谷 知宏



この会報誌は古紙再生紙を使用しています。